

大内かわら版 NO.17

大内地区の「地域の教科書」

- ①暮らしに関することをまとめたもの
(行事・役割、慣わしなど)
- ②地域の魅力・特徴などをまとめたもの

目的・効果

- 〔移住希望者〕大内のことを知ってもらい、知ったうえで移住してもらおう。選んでもらおう。
- 〔大内住民皆様〕・地域の魅力など認識の再確認をする。
・在住行政区以外の行事・団体などを知る。
- 〔出身者・若い世代〕地域の魅力などを情報発信し理解してもらおう。

第1段階「地域の教科書」第1版の配布について

「大内地区 地域の教科書」(第1版)が完成し、全戸配布いたしました。皆様ご覧になりましたでしょうか？ 今後も皆様のご意見を参考にしながら、教科書づくりを進めてまいります。

大内地区全体をはじめ、ご自分の区や他区の魅力・暮らしぶりなどが掲載されておりますので、ご家族やご近所の皆様でご覧いただき、今後の地域を考えるきっかけにいただければ幸いです。



「大内地区 地域の教科書」を以下の場所に設置予定です！

大内地区住民の皆様へ全戸配布するとともに、丸森町に移住を検討されている方がイメージする参考資料として、各相談窓口にて提供いたします。また、多くの方にも見ていただきたいという思いから、人が集まる場所へ閲覧用として設置する予定です。

教科書を読んだ感想やご意見などありましたら、ぜひお聞かせください！

★移住希望者などに提供する場所(予定)

- 丸森町役場子育て・定住課
- 大内まちづくりセンター
- まるもり移住・定住サポートセンター
- ふるさと回帰センター(東京)

★閲覧用として設置していただく場所(予定)

- 各まちづくりセンター
- いきいき交流センター大内
- 大内郵便局
- 大内小学校
- 大内保育所
- 社会福祉法人はらから福祉会 みずきの里 丸森
- 青葉温泉
- 大内地区の飲食店、理容室、歯科、商店
- 丸森町観光案内所
- 丸森歴史資料館まるもりふるさと館 など



背景

丸森町大内地区が平成27年度「みやぎ移住・交流推進モデル事業」のモデル地区となり、半年かけて移住・交流の理解を深めるための会議を実施。移住・交流の必要性や、少子高齢化といった地域の課題やその解決策などについて意見を出し合いました。

その結果



より暮らしやすい地域をつくるには、移住者の存在は「必要ではないか」という結論に達し、移住を考える方がスムーズに地域に溶け込めるよう、暮らしの教本となる「地域の教科書づくり」に取り組むことで意見がまとまりました。



目的

移住を希望される方にとって

- 大内地区での暮らしがイメージしやすくなる。
- 大内の魅力や課題、地域の風習などを伝えることで、移住してくる際におけるトラブルを事前に避けることができ、地域にスムーズに馴染んでもらえる可能性がある。

地域住民の皆さんにとって

- 地区の魅力・価値を改めて見つめ直し、郷土愛を深める機会になる。
- 教科書を見ることで、地域の未来を考えるきっかけになり、共に話すことで住民同士の繋がり・絆が、より強くなる。
- 地域の現状・課題・想いが入っていることで、移住希望者や若者などにメッセージを分かりやすく伝えることができる。

次世代を担う若い世代や、地元を離れた大内出身者にとって

- 地域の魅力や良さなど、これからも継承していきたいものを知ることができる。
- どんな地域行事があるかを知るきっかけとなり、参加してもらえる可能性が増える。
- 親世代から知らなかったことを教わり、自分達の子供に伝える手段にもなる。

「地域の教科書づくり推進会議」や住民皆様からのご意見を参考に決まった主な内容

行政区毎でなく、若者が認識しやすい12区毎で情報をまとめる。

第1段階は基本情報として4テーマ（年間行事、暮らし、暮らしにかかる費用、役割・組織）に分ける。

基本情報以外に、移住者が求めること、受入れ側が発信したい情報は今後追記していく。

平成30年1月には、より良い教科書を作るため、住民の皆様と共に教科書づくりを進めていくため、第1段階のたたき台案を全戸配布し、自分の区について改めて見直していただきました！



今後、第2段階の教科書づくりもスタートします！

大内の未来を考える機会となり、皆様がより負担なく暮らす一助になる

と共に、子どもや孫達、地元の若者、新たに来る人が「こんな地域に住みたい！」と思えるような教科書づくりに取り組んでいきましょう。